# 平成23年度

歯及び口腔の健康づくりに関する報告書

栃 木 県

# 歯及び口腔の健康づくりに関する報告 について

栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例(平成22年栃木県条例第50号)第10条の規定により、歯及び口腔の健康づくりに関する報告書を提出します。

平成23年9月20日

栃木県知事 福田 富一

# 目 次

Ι	はじめに	p. 1
Π	県内における歯及び口腔の健康づくりの状況について1 1歳6か月児2 3歳児3 園児・児童・生徒4 成人・高齢者	<ul><li>p. 1</li><li>p. 1</li><li>p. 4</li><li>p. 7</li><li>p. 12</li></ul>
Ш	本県における平成 22 年度歯科保健医療対策体系について	p. 16
IV	平成 22 年度に講じた施策について         1 普及啓発関連事業         2 予防・検診関連事業         3 障害児者等関連事業         4 人材育成・体制整備関連事業	<ul><li>p. 19</li><li>p. 19</li><li>p. 22</li><li>p. 23</li><li>p. 26</li></ul>
V	平成 23 年度に講じようとする施策について	p. 34
VI	資料:県内市町におけるライフステージごとの取組み(平成 22 年度)	p. 35

### I はじめに

この報告書は、「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」(以下、「条例」という。)第10条の規定により、歯及び口腔の健康づくりの状況並びに県が歯及び口腔の健康づくりの推進に関して講じた施策及び講じようとする施策について、県議会に報告するものです。

- ・県内における歯及び口腔の健康づくりの状況を記載しました。
- ・平成22年度に講じた個別の事業内容と実績を記載しました。
- ・平成23年度に講じようとする施策について記載しました。

### Ⅱ 県内における歯及び口腔の健康づくりの状況について

県内の歯や口腔の健康づくりの状況について、各ライフステージ(1歳6か月児・3歳児・園児・ 児童・生徒・成人・高齢者)毎に報告します。

### 1 1歳6か月児

1歳6か月児については、母子保健法(昭和40年法律第141号)第12条により、市町村に対し、満1歳6か月を超え満2歳に達しない幼児の健康診査を実施することが義務付けられています。 その健康診査の項目には、「歯及び口腔の疾病及び異常の有無」も含まれているため、健康診査の結果に基づき、県内の1歳6か月児のむし歯の状況について報告します。

#### (1) 県内における健康診査の実施状況について

平成21年度における対象者数は県内全域では17,537人であり、うち健康診査の受診者数は16,732人でした。受診者のうち、むし歯がある1歳6か月児は470人でした(表1-1)。

地域	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	むし歯 有病者率 (%)	一人平均 むし歯数 (本)	むし歯の 総本数 (本)	むし歯の ない者(人)	むし歯の ある者(人)
宇都宮市	4,985	4,701	94.3	2.28	0.08	363	4,594	107
県西地域	1,538	1,459	94.9	2.67	0.09	128	1,420	39
県東地域	1,180	1,125	95.3	3.64	0.12	139	1,084	41
県南地域	4,326	4,186	96.8	2.77	0.07	311	4,070	116
県北地域	3,338	3,187	95.5	3.36	0.09	279	3,080	107
安足地域	2,170	2,074	95.6	2.89	0.10	209	2,014	60
県合計	17,537	16,732	95.4	2.81	0.09	1,429	16,262	470

表 1-1; 1歳6か月児健康診査実施状況(H21)

栃木県保健福祉部こども政策課「平成 22 年度版とちぎの母子保健」掲載データから作成

- ○県西地域;鹿沼市、日光市、西方町
- ○県東地域;真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町
- 〇県南地域;小山市、上三川町、下野市、野木町、栃木市、壬生町、大平町、藤岡町、岩舟町、都賀町
- ○県北地域;大田原市、那須塩原市、那須烏山市、那須町、矢板市、さくら市、塩谷町、高根沢町、那珂川町
- ○安足地域;足利市、佐野市

#### (2) むし歯有病者率について

平成21年度におけるむし歯有病者率は県平均が2.81%であり、県内で最も有病者率が高かったのは岩舟町で8.33%、最も低かったのは西方町で0.00%でした(図1-2)。

都道府県別をみると、全国平均が2.52%であるのに対し、本県は2.81%と平均より有病者率が高く、第29位でした(図1-3)。

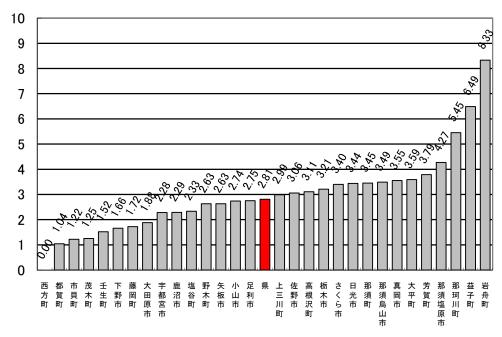


図 1-2 県内における 1歳6か月児のむし歯有病者率(平成 21 年度)

栃木県保健福祉部こども政策課「平成 22 年度版とちぎの母子保健」掲載データから作成

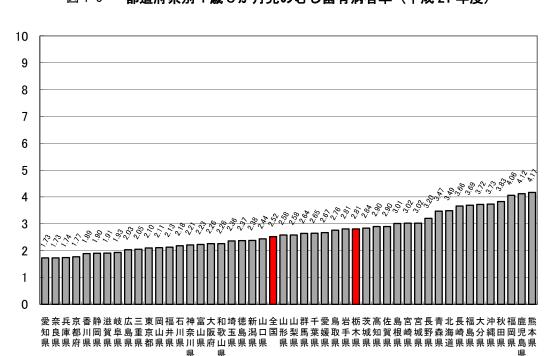


図 1-3 都道府県別 1歳6か月児のむし歯有病者率(平成 21 年度)

厚生労働省「平成 21 年度母子保健課所管国庫補助事業等に係る実施状況調べ」から作成

### (3) 1人平均むし歯数について

平成21年度における1人平均むし歯数は県平均が0.09本であり、県内で最もむし歯数が多かったのは益子町で0.24本、最も少なかったのは西方町で0.00本でした(図1-4)。

都道府県別をみると、全国平均が0.07本であるのに対し、本県は0.09本と平均より1人平均むし歯数が多く、第31位でした(図1-5)。

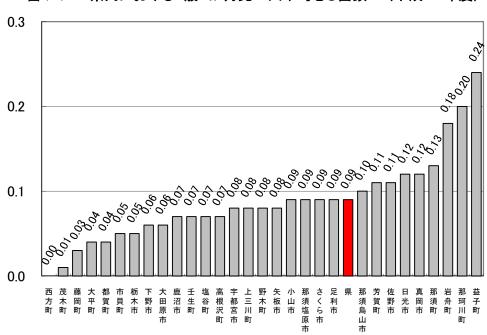
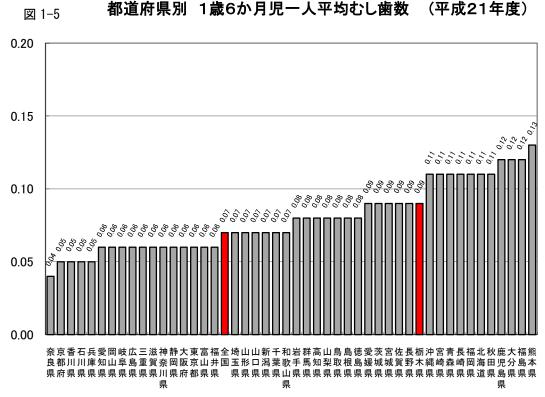


図 1-4 県内における1歳6か月児一人平均むし歯数 (平成21年度)

栃木県保健福祉部こども政策課「平成 22 年度版とちぎの母子保健」掲載データから作成



厚生労働省「平成 21 年度母子保健課所管国庫補助事業等に係る実施状況調べ」から作成

### 2 3歳児

3歳児についても、母子保健法(昭和40年法律第141号)第12条により、市町村に対し、満3歳を超え満4歳に達しない幼児の健康診査を実施することが義務付けられています。その健康診査の項目には、「歯及び口腔の疾病及び異常の有無」も含まれているため、健康診査の結果に基づき、県内の3歳児のむし歯の状況について報告します。

### (1) 県内における健康診査の実施状況について

平成21年度における対象者数は県内全域では17,873人であり、うち健康診査の受診者数は16,767人でした。受診者のうち、むし歯がある3歳児は4,141人でした。

表 1-6; 3 歳児健康診査実施状況(H21)

地 域	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	むし歯 有病者率 (%)	一人平均 むし歯数 (本)	むし歯の 総本数 (本)	むし歯の ない者(人)	むし歯の ある者(人)
宇都宮市	5,163	4,748	92.0	19.90	0.77	3,641	3,803	945
県西地域	1,568	1,480	94.4	25.27	0.85	1,263	1,106	374
県東地域	1,379	1,281	92.9	23.65	0.98	1,259	978	303
県南地域	4,215	4,044	95.9	26.29	1.12	4,540	2,981	1,063
県北地域	3,291	3,061	93.0	27.51	1.11	3,393	2,219	842
安足地域	2,257	2,153	95.4	28.52	1.23	2,647	1,539	614
県合計	17,873	16,767	93.8	24.70	1.00	16,743	12,626	4,141

栃木県保健福祉部こども政策課「平成 22 年度版とちぎの母子保健」掲載データから作成

○県西地域;鹿沼市、日光市、西方町

○県東地域;真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町

〇県南地域;小山市、上三川町、下野市、野木町、栃木市、壬生町、大平町、藤岡町、岩舟町、都賀町

○県北地域;大田原市、那須塩原市、那須烏山市、那須町、矢板市、さくら市、塩谷町、高根沢町、那珂川町

○安足地域;足利市、佐野市

### (2) むし歯有病者率について

平成21年度におけるむし歯有病者率は県平均が24.7%であり、県内で最も有病者率が高かっ たのは那須町で38.2%、最も低かったのは芳賀町で18.84%でした(図1-7)。

都道府県別をみると、全国平均が22.95%であるのに対し、本県は24.7%と平均より有病 者率が高く、第24位でした(図1-8)。

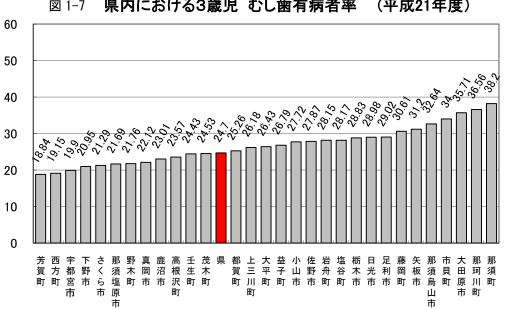
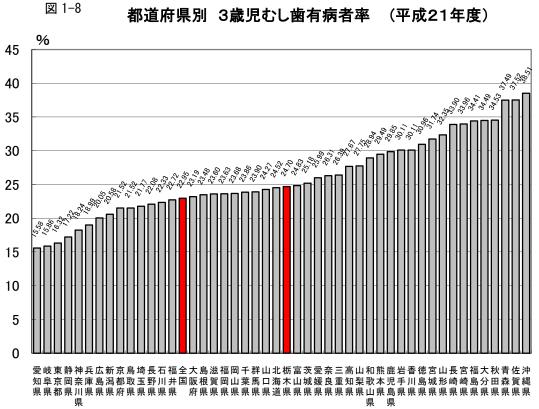


図 1-7 県内における3歳児 むし歯有病者率 (平成21年度)

栃木県保健福祉部こども政策課「平成22年度版とちぎの母子保健」掲載データから作成



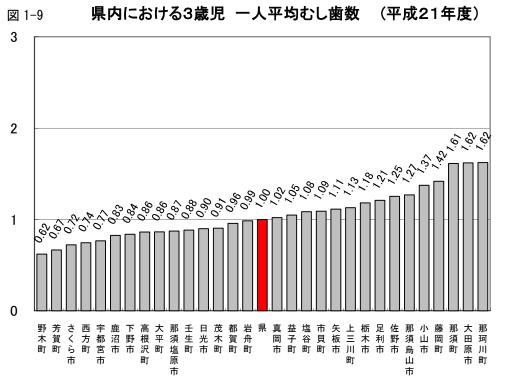
都道府県別 3歳児むし歯有病者率 (平成21年度)

厚生労働省「平成21年度母子保健課所管国庫補助事業等に係る実施状況調べ」から作成

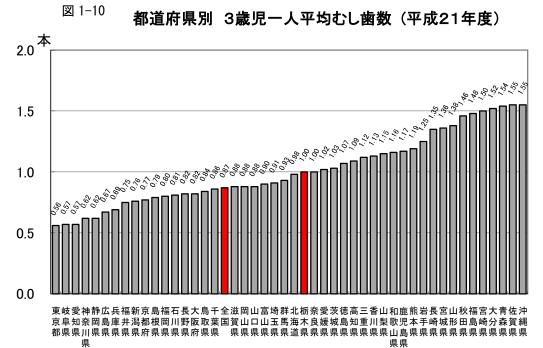
### (3) 1人平均むし歯数について

平成21年度における1人平均むし歯数は県平均が1.00本であり、県内で最もむし歯数が多かったのは那珂川町で1.62本、最も少なかったのは野木町で0.62本でした(図1-9)。

都道府県別をみると、全国平均が0.87本であるのに対し、本県は1.00本と平均より1人平均むし歯数が多く、第25位でした(図1-10)。



栃木県保健福祉部こども政策課「平成 22 年度版とちぎの母子保健」掲載データから作成



厚生労働省「平成 21 年度母子保健課所管国庫補助事業等に係る実施状況調べ」から作成

### 

園児(翌学年の初めから学校に入学予定の園児)については、学校保健安全法(昭和33年法律第56号)第11条により市町村の教育委員会に、児童・生徒については同法第13条第1項により各学校に対して、健康診断をすることが義務付けられています。

園児に対しての健康診断では「歯及び口腔の疾病及び異常の有無は、齲歯、歯周疾患、不正咬合その他の疾病及び異常について検査する」こと、児童・生徒に対しての健康診断では「歯及び口腔の疾病及び異常の有無」が定められているため、健康診断の結果に基づき、県内の園児・児童・生徒の歯の状況について報告します。

#### (1) むし歯の被患率の推移について

#### ア. 園児(幼稚園児)

県内の幼稚園児(5歳児)におけるむし歯被患率については、減少する傾向がみられますが、こ こ数年については53%前後で推移しています(図1-11)。また、全国平均と比べると、平成16年度以外の全ての年度において本県の被患率が上回っています(図1-12)。

表 1-11;幼稚園(5歳児)におけるむし歯の被患率の推移

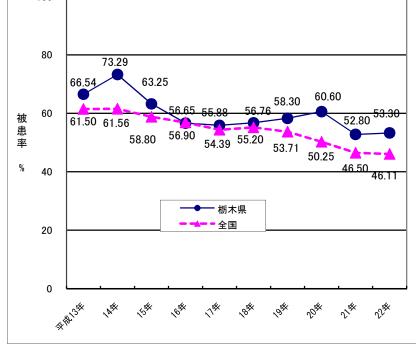
(単位%)

		平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
幼	むし歯被患率	66. 54	73. 29	63. 25	56. 65	55. 88	56.76	58. 30	60. 60	52. 80	53. 30
稚	処置完了者	19. 64	27. 23	23. 32	19. 72	17. 69	15. 49	23. 30	24. 72	20. 70	17. 70
遠	未処置のある者	46. 90	46.06	39. 93	36. 94	38. 19	41. 27	35. 00	35. 89	32. 20	35. 60

文部科学省「学校保健統計調査」より

幼稚園 100 80

図 1-12;全国平均値との比較



### イ. 小学生

県内の小学生のむし歯被患率については、減少する傾向がみられ、平成22年度は60.9%まで減少しました(図1-13)。しかし、全国平均と比べると、全ての年度において本県の被患率が上回っている状況にあります(図1-14)。

表 1-13; 小学校におけるむし歯の被患率の推移

(単位%)

		平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
小	むし歯被患率	76. 99	78. 67	76. 12	72. 89	73.36	70. 91	71.50	69.13	64. 90	60. 90
学	処置完了者	37. 02	36. 34	35. 96	32. 50	32.46	31.76	32. 20	31.53	29. 00	26. 70
校	未処置のある者	39. 97	42. 33	40. 16	40. 39	40. 91	39. 15	39. 20	37. 60	35. 90	34. 20

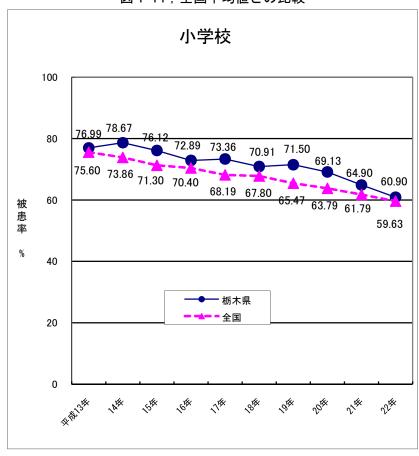


図 1-14;全国平均値との比較

文部科学省「学校保健統計調査」より

### ウ. 中学生

県内の中学校のむし歯被患率についても、減少する傾向がみられており、平成 2 2 年度は 5 0 . 0 % まで減少しました(図 1 -15)。全国平均と比べると、平成 2 1 年度までは本県の被患率が上回っている状況にありましたが、平成 2 2 年度においては全国平均とほぼ同じ率でした(図 1 -16)。

表 1-15; 中学校におけるむし歯の被患率の推移

(単位%)

		平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
中	むし歯被患率	76. 61	72. 79	70. 49	67. 93	62. 12	67. 27	64. 30	59. 89	59. 20	50.00
学	処置完了者	42. 12	43. 00	41.06	37. 88	33. 05	36.82	33. 20	33. 51	34. 40	29. 60
校	未処置のある者	34. 50	29. 79	29. 43	30. 05	29. 07	30.44	31. 10	26. 38	24. 80	20. 40

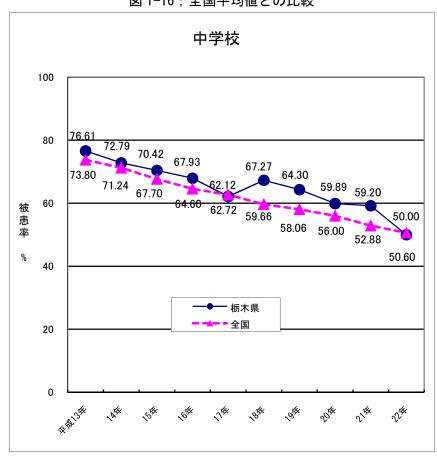


図 1-16;全国平均値との比較

文部科学省「学校保健統計調査」より

### 工. 高校生

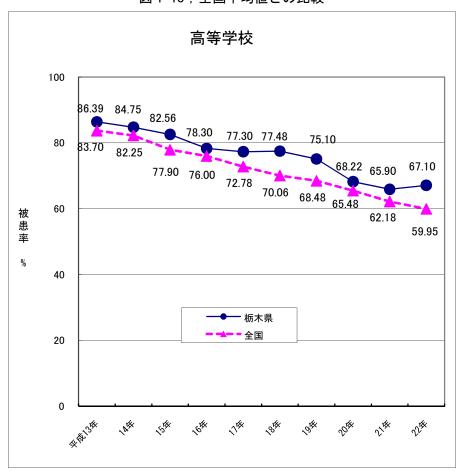
県内の高等学校のむし歯被患率についても、減少する傾向がみられますが、ここ数年については 67% 前後で推移しています (図 1-17)。また、全国平均と比べると、全ての年度において本県の被患率が上回っている状況にあります (図 1-18)。

表 1-17; 高等学校におけるむし歯の被患率の推移

(単位%)

		平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
高	むし歯被患率	86.39	84. 75	82. 56	78. 30	77. 30	77. 48	75. 10	68. 22	65. 90	67. 10
等学	処置完了者	55. 12	54. 72	52. 41	48. 20	47. 02	45. 78	42. 30	41.85	37. 40	39. 60
· 校	未処置のある者	31. 27	30. 04	30. 15	30. 10	30. 28	31. 68	32. 90	26. 37	28. 50	27. 50

図 1-18;全国平均値との比較



文部科学省「学校保健統計調査」より

### (2) 12歳の永久歯の1人当り平均むし歯数

12歳の1人当たり平均むし歯数は、永久歯が生えそろった直後の指数となるため、国際的な判断 基準(WHO;世界保健機構)となっています。

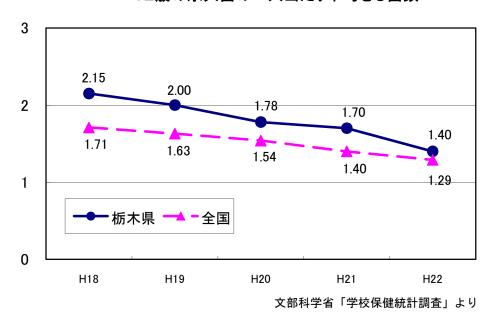
12歳の永久歯の1人当り平均むし歯数についても減少する傾向がみられ、平成22年度においては1.4歯まで減少しました(表1-19)。依然として全国平均を上回っている状況にありますが、その差は縮まっている傾向にあります(図1-20)。

表 1-19; 平成 22 年度 12歳の永久歯の1人当り平均むし歯等数

【栃木県	]				(単位:本)
区分	計	   喪失歯数		むし歯	
区刀	ĒΙ	及大图数	計	処置歯数	未処置歯数
計	1.40	0.00	1.40	1.00	0.40
男	1.30	0.00	1.30	0.90	0.40
女	1.50	0.00	1.50	1.10	0.40

【全国】 むし歯 区分 計 喪失歯数 計 処置歯数 未処置歯数 計 1.29 0.03 1.27 0.81 0.46 男 1.19 0.02 1.17 0.73 0.44 女 1.39 0.03 1.36 0.89 0.48

図 1-20 12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯数



### 4 成人・高齢者

#### (1) 歯周疾患検診実施状況

成人・高齢者については、健康増進法(平成14年法律第103号)により、市町村は40歳、50歳、60歳及び70歳の住民を対象とした歯周疾患検診を実施するよう努めることとされています。 そのため、歯周疾患検診を実施した市町の実施状況及び検査結果について報告します。

### ア. 実施状況

平成21年度において、歯周疾患検診を実施した市町は23市町であり、県内市町の実施率は85%を超える高い実施率でした。しかし、受診者数は4,169人にとどまり、歯周疾患検診の受診率については4%と低いことが分かりました。

### イ. 各市町実施状況一覧

(単位:人)

		受診	者数	,	<b>负査結果</b>	ļ.	受診	者数	1	<u> </u>	<b>位:人)</b> !
市町村名	受診人員	40	)歳	要精	要指	異常	50	)歳	要精	要指	異常
		男	女	検者	導者	認 め ず	男	女	検者	導者	認 め ず
宇都宮市	1,568	96	347	391	18	34	63	296	323	17	19
鹿沼市	518	49	64	64	33	16	40	51	56	23	12
日光市	22	4	3	4	1	2	1	1	1	1	0
西方町	19	2	3	2	2	1	4	4	4	3	1
真岡市	360	31	48	66	5	8	31	43	52	7	15
益子町	80	1	10	7	2	2	4	21	18	4	3
茂木町	32	2	7	9			1	5	6		
市貝町	11	1	3	3	1		1	2	3		
芳賀町	50	2	7	6	1	2	4	8	9	2	1
栃木市	360	25	48	54	10	9	45	106	108	27	16
小山市	206	10	32	35	1	6	6	27	28	1	4
下野市	36	3	6	1	8	0	1	2	3	0	0
上三川町	35	7	5	9	1	2	2	3	4	1	
壬生町	202	14	36	39	4	7	16	11	22	3	2
野木町	0										
岩舟町	18	2	2	4	0	0	3	4	4	1	2
大田原市	0										
矢板市	29		5	3	1	1	4	2	6		
那須塩原市	450	33	76	9	6	94	28	57	6	4	75
さくら市	0										
那須烏山市	14	4	4	4	4		4	2	2	1	3
塩谷町	4							2	2		
高根沢町	37	3	4	1	5	1	4	7		9	2
那須町	63	3	6	9	0	0	5	6	11	0	0
那珂川町	46	2	3	5			3	3	5		1
足利市	9	0	2	2	0	0	0	1	0	1	0
佐野市	0										
計	4,169	294	721	727	103	185	270	664	673	105	156

	受診	者数		検査結果		受診	者数		検査結果	
市町村名	60	歳	要精	要 指	異常	70	)歳	<del>要</del> 精	要 指	異常
	男	女	··· 検 者	導者	認 め ず	男	女	··· 検 者	導者	認 め ず
宇都宮市	122	371	459	14	20	115	158	246	9	18
鹿沼市	63	110	123	39	11	72	69	89	41	11
日光市	3	6	8	0	1	1	3	2	1	1
西方町	2	3	2	2	1		1	1		
真岡市	44	77	94	15	12	45	41	65	9	12
益子町	11	17	23	4	1	6	10	8	6	2
茂木町	2	7	8		1	2	6	5	3	
市貝町	1	1	2				2	2		
芳賀町	4	7	10	1		4	14	13	5	
栃木市	23	57	71	6	3	28	28	50	3	3
小山市	13	32	36	5	4	36	50	74	6	6
下野市	0	5	4	0	1	12	7	14	2	3
上三川町	3	7	5	5		1	7	6	1	1
壬生町	14	52	50	9	7	22	37	54	2	3
野木町										
岩舟町	1	5	5	1	0	0	1	1	0	0
大田原市										
矢板市	4	6	9	1		4	4	6		2
那須塩原市	66	84	9	7	134	53	53	18	12	76
さくら市										
那須烏山市										
塩谷町	1	1	2							
高根沢町	3	12	2	12	1	2	2	2	2	
那須町	8	14	16	1	5	9	12	17	2	2
那珂川町	8	16	20	1	3	5	6	8		3
足利市	1	2	2	0	1	0	3	1	1	1
佐野市										
計	397	892	960	123	206	417	514	682	105	144

H22.2 健康増進課調べ

### (2) 平成21年度県民健康・栄養調査の結果について

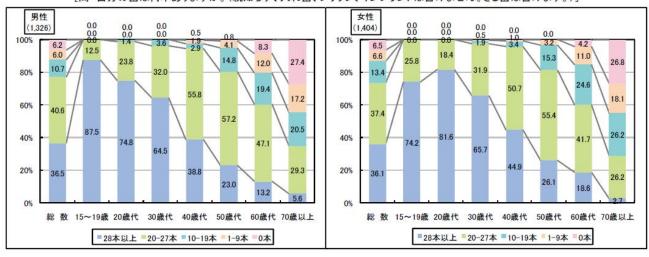
県民の食生活や身体状況、普段の生活習慣などの実態を把握し、その結果を今後の県民の健康づくりに役立てるために、平成21年度に県民健康栄養調査を実施しました。調査により分かった成人・高齢者の歯の状況について報告します。

#### ア. 歯の本数について

自分の歯(親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは除く)の本数は、男性で20歳代から、女性で430歳代から減少する傾向がみられます。男女とも20本以上を持つ者は50歳代ではおよそ80%でしたが、60歳代では60%程度に減少していました(図1-21)。

図 1-21;自分の歯の本数(15歳以上)

[問 自分の歯は何本ありますか。(親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。さし歯は含みます。)]



H21 県民健康・栄養調査より

#### イ、6024及び8020達成者について

60歳で24歯以上自分の歯を有する者(6024達成者)の割合は、男女とも50%以上(2人に1人)となっており、平成15年に実施した同様の調査に比べて約10ポイント高い値となりました。同様に80歳で20本以上自分の歯を有する者の割合は、男性で約3割、女性で約2割であり、前回調査に比べて、約5%高い値となりました(図1-22)。

図 1-22:60歳で24歯以上、80歳で20歯以上の歯を有する者の割合

[問 自分の歯は何本ありますか。(親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。さし歯は含みます。)]

	60歳(55-64歳	度)で24歯以上	80歳(75-84歳)で20歯以_			
	H15	H21	H15	H21		
男性	40.0	50.6	22.2	28.1		
女性	44.1	54.7	15.5	20.9		

H21 県民健康・栄養調査より

#### ウ. 歯科検診の受診率について

平成21年度に歯科健診を受診した者の割合は、男性32.5%、女性38.5%でした。男女とも15~19歳では60%を超えいずれも前回(平成15年)調査よりも増加していました。しかし、20歳以上ではいずれも50%には届かなく、また70歳代以上を除くすべての年齢階級では女性の受診率が男性を上回っていました(図1-23)。

図 1-23: 歯科健診の受診状況(15歳以上)

(%) 70 男性 女性 63 6 ■栃木県(H15) 61.3 58.9 ■栃木県(H21) 50 46.0 42.9 40 36 4 35.4 28.2 28.8 30.0 30 20 160 10 総 数 15~19歳 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳以上 総 数 15~19歳 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳以上 (2,753/1,332) (3.014/1.409)

図18 歯科健診の受診状況(15歳以上)[問 あなたは過去1年間に、歯科健康診査を受けましたか。]

H21 県民健康・栄養調査より

### 工.参考;本県における脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病の死亡率について

歯及び口腔を健康に保つことは、生涯にわたる健康の保持及び増進に欠かせないものであり、脳血 管疾患、虚血性心疾患、糖尿病その他生活習慣病の予防のためにも非常に重要です。

参考として、都道府県別年齢調整死亡率 (年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるよう に年齢構成を調整した死亡率) の全国と本県の比較を以下に示しますが、本県の脳血管疾患及び虚血性心疾患の死亡率は全国ワーストレベルにあります (表1-24)。

	脳血管	<b>管疾患</b>	心报	失患	うち 虚血性	心疾患	糖尿病		
	男	女	男	女	男女		男	女	
全国	61.9	36.1	83.7	45.3	42.2	16.6	7.3	3.9	
栃木県	79.3	46.4	96.2	52.3	60.2	27.3	7.3	4.4	
(順位)	(45)	(47)	(42)	(44)	(47)	(47)	(24)	(38)	

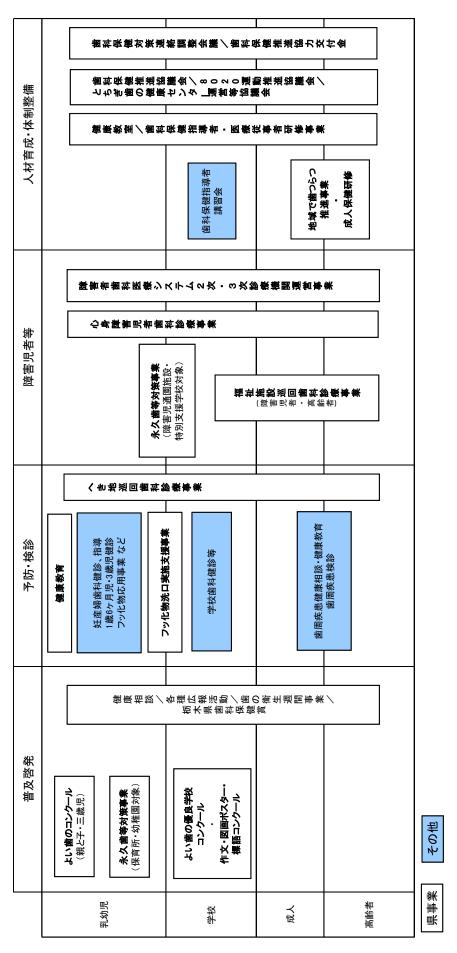
表 1-24: 都道府県別年齢調整死亡率の全国と本県の比較(人口10万対) (人)

(平成 17 年 人口動態統計)

## Ⅲ 本県における平成 22 年度歯科保健医療対策体系について

		IV =#	5-	<b>イフ</b> フ	ステ-	-ジ		実施	主体	
区分	事業名	講じた施策	乳幼児	学 校	JJK.	高齢者	県	教育委員会	市町村	関係機関
	健康相談	1-(1)	0	0	0	0	0			0
	各種広報による広報活動	1-(2)	0	0	0	0	0			0
	歯の健康センターにおける普及啓発	1-(3)	0	0	0	0	0			0
	歯の衛生週間事業	1-(4)	0	0	0	0	0		0	0
普及啓発	栃木県歯科保健賞	1-(5)	0	0	0	0	0	0		0
	よい歯のコンクール(親と子・三歳児)	1-(6)	0				0		0	0
	よい歯の優良学校コンクール	1-(7)		0			0	0		0
	よい歯の図画ポスター・作文・標語コンクール	1-(8)		0			0	0		0
	永久歯等対策事業(保育所・幼稚園)	1-(9)	0				0			0
	へき地巡回歯科診療事業	2-(1)	0	0	0	0	0			0
	健康教育	2-(2)	0				0			0
	フッ化物洗口実施支援事業	2-(3)	0	0			0			0
	妊産婦歯科健診、集団指導		0						0	
	乳幼児健診等での指導		0						0	
	乳幼児対象のフッ化物応用事業		0						0	
予防・検診	1歳6か月児健診		0						0	
7 00 1 快衫	2歳児歯科健診、歯科保健指導		0						0	
	3歳児健診		0						0	
	フッ化物応用事業 (塗布・洗口)		0	0					0	
	学校歯科検診等			0				0		0
	歯周疾患健康相談、健康教室				0	0			0	
	歯周疾患検診(40・50・60・70歳)				0	0			0	
	へき地巡回歯科診療事業		0	0	0	0	0			0
	心身障害児者歯科診療事業	3-(1)	0	0	0	0	0			0
陪宝旧老笠	障害児者歯科医療システム2次3次診療機関運営事業	3-(2)	0	0	0	0	0			0
障害児者等 	永久歯等対策事業	3-(3)	0	0			0			0
	福祉施設巡回歯科診療事業	3-(4)	0	0	0	0	0			0
	健康教育(歯科助手向け研修会)	4-(1)	0	0	0	0	0			0
	歯科保健指導者・医療従事者研修事業	4-(2)	0	0	0	0	0			0
	地域で歯つらつ推進事業(介護従事者向け口腔ケア研修会)	4-(3)				0	0			0
	歯科保健推進協力交付金	4-(4)	0	0	0	0	0			
人材育成	成人保健研修	4-(5)			0	0	0			0
│	栃木県歯科保健推進協議会	4-(6)	0	0	0	0	0			
THE PARTY OF THE PARTY	8020運動推進協議会	4-(6)	0	0	0	0	0			
	とちぎ歯の健康センター運営等協議会	4-(6)	0	0	0	0	0			
	歯科保健対策連絡調整会議	4-(7)	0	0	0	0	0		0	0
	歯科保健指導者講習会			0				0		

乳幼児・学校・成人・高齢者のライフステージ毎に図表で示すと次頁のとおりです。



### 参考 とちぎ歯の健康センターについて

### (1) センター概要

とちぎ歯の健康センターは、すべての県民の皆さんが歯及び口腔の健康について正しい知識を もち、一生涯自分の歯を守り、健康に過ごすことができるよう、本県の歯科保健対策を推進する 拠点として、平成6年2月に開館しました。

### (2)施設内容

・所 在 地 栃木県宇都宮市一の沢2丁目2番5号

• 設置主体 栃木県

• 運営主体 (社) 栃木県歯科医師会

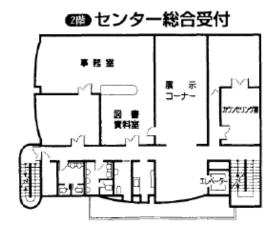
・開館時間 午前9時~午後5時

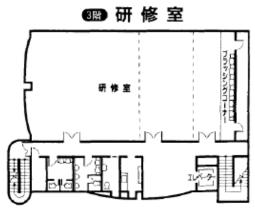
・休館日 土・日・国民の祝日、年末・年始

· 連 絡 先 TEL 028-648-6480 FAX 028-648-6483

### ∰障害者歯科診療所







### Ⅳ 平成22年度に講じた施策について

### 1 普及啓発関連事業

### (1)健康相談

とちぎ歯の健康センターにおいて電話及び来所による歯科保健に関する相談を実施しました。 受付時間;午前9時~午後4時30分

#### ア. 相談件数 133件

### イ. 相談内容別内訳

内容		治療	寮内容につい	いて			予防指導	障害者等の	その他	合計
	むし歯	歯周疾患	抜歯	補綴	矯正	その他	了的指導	17的拍导	歯科相談	~ V/III
件数	11	12	12	30	3	42	0	2	21	133件

### (2) 各種広報活動

テレビやラジオ等を活用し、歯科保健に関する様々なトピックについて普及啓発を行いました。

月	媒体	内容
H22.5	ラジオ(CRT 栃木放送)	歯の衛生習慣~歯の健康について考えよう~
IJ	情報誌(下野新聞 ASPO)	歯の衛生週間、歯と全身の健康について
H22.6	ラジオ(NHKFM)	歯の衛生週間について
H22.10	コンビニエンスストア内配置	「口腔衛生と全身疾患の関係」パンフレットの配置
П22.10	(ファミリーマート)	
H22.12	ホームページ	歯科関係条例について
H23.1	情報誌(下野新聞 ASPO)	歯科関係条例について
"	情報誌(自治とちぎ)	歯科関係条例について
"	メールマガジン	歯科関係条例について
H23.2	情報誌(下野新聞 Tたいむ)	歯周疾患検診、歯科関係条例について
IJ	テレビ (テレビ小山)	歯の健康と生活習慣、歯科関係条例について
H23.3	ポスター、リーフレット	歯科関係条例周知用

### (3) 歯の健康センターにおける普及啓発

「展示コーナー」、「図書資料室」における各種資料の展示及び各種広報、媒体を活用し普及啓発活動を展開しました。

### ア、展示コーナー、図書資料室

・図書貸し出し26件(延べ61件)・ビデオ等貸し出し50件(延べ162件)・パネル、備品貸し出し35件(136件)

### イ. 機関紙発行

「とちぎ歯の健康センターだより・第 17 号」発行

#### ウ. 視察研修

内容:診療所、展示コーナー見学、センター事業の説明、研修、体験学習等

### (4) 歯の衛牛週間事業

歯の衛生週間中に歯の衛生に関する正しい知識の普及を図るため、県内11ヶ所において講演会・ 保健指導を実施しました。

実施回数	対象者	参加者数
11回	一般県民	6,894人

### (5) 栃木県歯科保健賞

昭和52年に栃木県歯科医師会が第29回保健文化賞を受賞したことを記念して制定されました。 県内における歯科保健衛生の分野で、優れた業績を挙げた団体及び個人の功績に対して顕彰を行って います。

平成22年度の結果(平成22年9月2日審査会開催)

団体の部	足利市福祉部健康増進課
個体の利回	栃木県歯科衛生士会 日光支部
個人の部	該当者なし

### (6) 親と子のよい歯のコンクール・3歳児よい歯のコンクール

親と子の口腔衛生の向上及び普及啓発を図るため、3歳児健診を受診した幼児及びその親を対象にコンクールを実施しました。

#### ア、審査内容

- ・第1次審査(市町):3歳児健診結果の書類審査又は歯科診査により選出
- ・第2次審査(宇都宮市・各広域健康福祉センター): 歯科・内科診査により選出
- ・第3次審査(県):7月8日(木)とちぎ歯の健康センターにて歯科・内科審査を実施

#### イ、審査結果

コンク		審查				審査結果			
ール名	第1次	第2次	第3次	中央	最優秀	優秀	優良		
7**/1	市町村	広域健康セ	県	(厚労省)	以发力	医 力	俊 戊		
親と子	48組	28組	9組	1組	1組	2組	6組		
三歳児	337人	73人	12人	_	1人	3人	8人		

### (7) よい歯の優良学校コンクール

児童生徒の歯科保健の向上発展を図るため、栃木県教育委員会・栃木県歯科医師会との三者共催で コンクールを行いました。

### ア. 審査内容

平成22年9月2日(木)に審査会を実施し、各小・中学校の定期健診結果及び、学校保健活動の 充実度、歯科保健活動の状況、う歯総数・処置歯率等を総合的に審査しました。

### イ. 審査結果

-								
区以	会加拉	栃木県	栃木県議会	栃木県	栃木県医師	栃木県歯科	入選	
	区分	参加校	知事賞	議長賞	教育長賞	会長賞	医師会長賞	八迭
	小学校	243校	1	2	3	3	9	5 0
	中学校	76校	1	2	3	3	9	2 0

	小学校の部	中学校の部
栃木県知事賞	宇都宮市立富屋小学校	大田原市立金田南中学校
栃木県議会議長賞	壬生町立藤井小学校	宇都宮市立宮の原中学校
伽小乐誐云誐艾貝	足利市立葉鹿小学校	栃木市立都賀中学校
	宇都宮市立戸祭小学校	宇都宮市立清原中学校
栃木県教育長賞	佐野市立栃本小学校	那須町立高久中学校
	那須町立大島小学校	佐野市立田沼西中学校
	宇都宮市立細谷小学校	高根沢町立阿久津中学校
栃木県医師会長賞	さくら市立喜連川小学校	小山市立小山第三中学校
	真岡市立真岡西小学校	日光市立藤原中学校
栃木県歯科医師会長賞	上記 9校	上記 9校

### (8) よい歯の図画・ポスター、作文、標語コンクール

歯の衛生週間事業の一環として、小中学校の児童から図画・ポスター、作文、標語を募集しました。

区分	特選	入選	
図画ポスター	小学校	2	2 4
コンクール	中学校	1	9
作文	小学校	2	1 5
コンクール	中学校	1	7
標語	小学校	2	2 0
コンクール	中学校	1	9

### (9) 永久歯等対策事業 (保育所・幼稚園)

県内の保育所・幼稚園の幼児と保護者等を対象として、歯科衛生士が「六歳臼歯の重要性」を中心に歯科保健指導を行いました。

幼稚園・保育所(実施回数;17回、対象者総数;788人)

				対	象者数	(名)
	7	,, ., <u>.,</u>	//L IX I	幼 児	保護者	保育士等
1	7月 6日	小 山 市	のぶしま幼稚園	12	7	2
2	7月 9日	那須塩原市	友里かご保育園	16	11	3
3	7月28日	日 光 市	湯西川保育園	З	3	2
4	8月 3日	那須塩原市	ひがしなす保育園	23	10	2
5	8月 9日	那須塩原市	とようら保育園	19	11	4
6	8月20日	那須烏山市	宮 原 保 育 園	15	15	1
7	8月26日	足利市	東光寺幼稚園	52	49	6
8	10月14日	日 光 市	きぬ川幼稚園	11	11	2
9	10月26日	那須塩原市	いなむら保育園	30	29	4
10	10月29日	那珂川町	ひばり幼稚園	18	18	3
11	11月 2日	佐 野 市	育 成 館 幼 稚 園	44	43	3
12	11月 8日	日 光 市	高 徳 保 育 園	4	4	3
13	11月11日	足利市	友 愛 幼 稚 園	44	37	4
14	11月12日	足利市	羽刈保育所	13	12	3
15	12月14日	足利市	みなみ保育所	22	8	2
16	1月20日	矢 板 市	ぴっころ保育園	22	22	2
17	2月28日	栃 木 市	バンビ幼稚園	50	49	5
		合 討	398	339	51	

### 2 予防・検診関連事業

### (1) へき地巡回歯科診療

無歯科医地区を有する市町村の中で、要請のあった地域を訪問し、歯科巡回診療バス「ルリちゃん号」による地域住民の歯科診療を実施しました。

市町名	実施場所	実施回数(回)	患者実人数(名)	患者延人数(名)
日光市	栗山小学校	7	5	34
那珂川町	馬頭東小学校	9	5	31
那珂川町	馬頭西小学校	9	9	46
合	計	25	19	111

### (2) 各健康福祉センターでの健康教育

各健康福祉センターにおいて歯科保健に関する健康教育を実施しました。

No.	実施日	実施会場	実施内容	対象者	参加人数(名)		
1	6月22日	県南健康福祉センター	乳幼児健全育成	乳幼児と保護者	17		
2	6月25日	安足健康福祉センター	乳幼児健全育成	乳幼児と保護者	21		
3	7月13日	県東健康福祉センター	乳幼児健全育成	乳幼児と保護者	17		
4	9月17日	安足健康福祉センター	乳幼児健全育成	乳幼児と保護者	0	*	
5	10月22日	県北健康福祉センター	乳幼児健全育成	乳幼児と保護者	8		
6	11月16日	県東健康福祉センター	乳幼児健全育成	乳幼児と保護者	12		
7	11月19日	烏山健康福祉センター	乳幼児健全育成	乳幼児と保護者	2		
8	1月28日	県西健康福祉センター	乳幼児健全育成	乳幼児と保護者	10		
	合 計						

※ 参加者無しのため中止

### (3) フッ化物洗口実施支援事業

市町村や施設におけるフッ化物洗口実施支援事業を実施しました。

従事歯科医師数	対象者	実施人員
80人	市町村及び施設	11,957人

### 3 障害児者等関連事業

### (1) とちぎ歯の健康センター診療所

1階の診療所において、障害児者を対象に歯科診療を実施しました。

### ア. 診療体制

•診療日 月曜日~金曜日(予約制)

・診療時間 午前;9時~12時、午後;1時30分~4時30分

・スタッフ

午前;歯科医師 1名(常勤)水・木3名(常勤1名、輪番制診療実行委員2名)

歯科衛生士 5名(常勤)

午後;歯科医師 3名(常勤1名、輪番制診療実行委員2名)

歯科衛生士 6名(常勤5名、他1名)

### イ. 診療実績 実診療日数;232日

中北江(北	新 患	86
患者延人数 (名)	再 来	4095
	合 計	4181
職員延人数 (名)	歯科医師	624
	歯科衛生士	1406
(41)	合 計	2,030

### ウ. 月別患者数

	患者延	診療	1 日平均
月	人数(名)	日数(日)	患者数(名)
4月	360	21	17
5月	293	18	16
6月	403	22	18
7月	390	21	19
8月	337	17	20
9月	411	20	21
10月	366	20	18
11月	387	20	19
12月	299	18	17
1月	321	17	19
2月	354	19	19
3月	260	19	14
合 計	4,181	232	_
平均	_	_	18

### (2) 障害児者歯科医療システム2次・3次診療機関運営事業

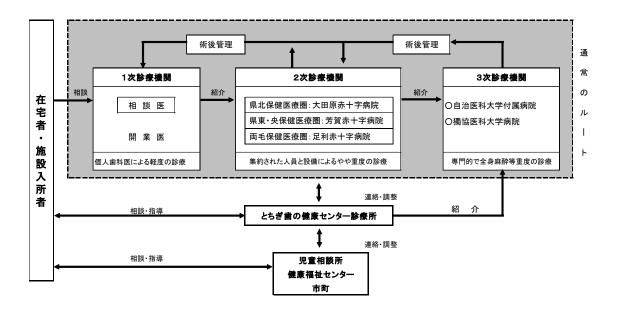
障害者の口腔衛生管理の充実のため、障害者歯科医療システム2次・3次診療機関(重度障害者が 対象)の運営経費に対して補助を実施しました。

	2 次診療機関(赤十字病院)			3次診	療機関
	芳賀	大田原	足利	自治医大	獨協医大
診療日数	49 日	12 日	51 日	231 人	49 日
対象患者実人数	31 人	7人	66 人	742 人	36 人
対象患者延人数	43 人	12 人	180 人	1,010 人	53 人

- 2次診療機関…やや重度の障害者を対象とする
- 3次診療機関…2次診療機関で対応できない重度者を対象とする

### ○栃木県心身障害児者歯科医療システム図

県では、心身障害児者が歯科医療を受診する機会を確保するために1次診療機関(地域の歯科診療所)、2次診療機関(やや重度の障害者が受入れ可能な赤十字病院)、3次診療機関(2次診療機関で対応できない重度者を受け入れる大学病院)と位置付け、「栃木県心身障害児者歯科医療システム」を構築しています。



### (3) 永久歯等対策事業 (障害児通園施設・特別支援学校対象)

障害児通園施設通所児と保護者、指導者等、特別支援学校児童と保護者、教諭等を対象に歯科衛生 士が「六歳臼歯の重要性」を中心に集団指導及び個別相談指導を行いました。

### ア. 障害児通園施設 (実施回数;12回、対象者総数;178人)

	宝佐口	士町夕	施設名	7	対象者数(名)	
	実施日	市町名	<b>心</b> 成石	幼児	保護者 職員	
1	6月9日	壬 生 町	ドリームキッズ	3	3 2	
2	6月16日	那須烏山市	くれよんクラブ	5	5 4	
3	6月28日	足利市	ぽけっとクラブ	10	14 8	
4	6月29日	大田原市	空	4	2 2	
5	7月5日	岩 舟 町	ひ ま わ り	5	3 4	
6	7月 13 日	矢 板 市	た け の こ 園	5	5 4	
7	9月10日	大 田 原 市	空(佐久山)	2	2 2	
8	11月22日	日 光 市	つ ば さ 園	7	7 3	
9	11月22日	那須塩原市	な す の 園	5	5 6	
10	11月22日	真 岡 市	ひ ま わ り 園	5	4 1	
11	1月28日	栃 木 市	キッズホームとちぎ	12	12 1	
12	2月4日	鹿 沼 市	あ お ば 園	6	6 4	
		合	計	69	68 41	

### イ. 特別支援学校(実施回数;11回、対象者総数217人)

実施日市町名		古町夕	施設名	対	力象者数(4	名)
	大旭日	רייווי ב	心故石	児童	保護者	職員
1	6月7日	益 子 町	益子特別支援学校	8	7	8
2	6月28日	宇都宮市	盲 学 校	2	2	3
3	7月2日	日 光 市	今市特別支援学校	3	1	6
4	7月9日	那須烏山市	南那須特別支援学校	8	8	6
5	9月10日	宇都宮市	わかくさ特別支援学校	2	0	4
6	9月21日	宇都宮市	宇大附属特別支援学校	5	4	3
7	10月29日	宇都宮市	富屋特別支援学校	17	7	6
8	11月22日	宇都宮市	のざわ特別支援学校	11	9	3
9	12月14日	下 野 市	国分寺特別支援学校	13	4	5
10	1月28日	那須塩原市	那須特別支援学校	15	3	5
11	2月1日	栃 木 市	栃木特別支援学校	17	15	7
_		合	計	101	60	56

### (4)福祉施設巡回歯科診療

要請のあった障害者施設及び老人施設を訪問し、歯科巡回診療バス「ルリちゃん号」による歯科診療を実施しました。

施設名	市町名	実施回数(回)	治療患者 延人数(名)	健 診 受診者数(名)
介護老人福祉施設 ゆ ず り	は 佐野市	6	23	19
知的障害者更生施設 太 陽 の	里 那須塩原市	6	42	30
特別養護老人ホームみつみねの	椰 栃木市	6	27	20
特別養護老人ホーム 三 起 の	真岡市	5	21	26
特別養護老人ホーム緑風	施 栃木市	1	0	20
特別養護老人ホーム きわだの	那 日光市	1	0	15
合 計		25	113	130

## 4 人材育成・体制整備関連事業

### (1)健康教育

施設に対して、歯科保健に関する健康教育を実施しました。

実施日	実施内容	対象者	参加人数(名)
9月30日~ 12月16日	DM   T   A   T   A   A   B   A   B   A   B   B   A   B   B	栃木県歯科医師会 歯科助手認定講習会受講者	55
11月15日~ 12月20日		栃木県立衛生福祉大学校 歯科衛生学課学生	30

### (2) 歯科保健指導者・歯科医療従事者研修会

歯科保健指導者、歯科医療従事者を対象に教育・研修を実施しました。

開催日	内容	講師	対象者	参加者数 (名)
	障害者のための訪問歯科診療	日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座		
10.05.0	障害有りための前向歯科砂療	教授 妻鹿 純一先生	歯科医師	FC
12月5日	とちぎ歯の健康センターの現状	とちぎ歯の健康センター	歯科衛生士	56
	について	専任歯科医師 坂入 博先生		

### (3) 地域で歯つらつ推進事業(介護従事者向け口腔ケア研修会)

全身の健康の向上の観点から、在宅高齢者や障害者等の要介護者の口腔衛生の向上を図ることを目的とし、県内11か所において介護担当者を対象とした研修会を開催しました。

なお、この事業は国庫事業の「8020運動推進特別事業」を活用し、実施しました。

### ○参考 8020運動推進事業について

平成12年度に国の歯科保健医療対策事業に「8020運動推進特別事業」が新設されたことを受けて、県では「栃木県8020運動推進協議会(\*項目(5)参照)」を設置し、本県の歯科保健の現状を踏まえ、以下のとおり各種事業を展開してきました。

年度	事業名	事業内容
平成12年	栃木県8020運動推進協議会	8020運動の効果的な推進方策の協議及び情
		報交換のための協議会設置。
	啓発用リーフレットの作成事業	ライフステージに応じた啓発リーフレット、「お母
		さんと乳幼児の方へ」「児童・生徒と保護者の方
		へ」「成人・高齢者の方へ」の3種類を作成。
平成13年	栃木県8020運動推進協議会	協議会の開催。
	「栃木県の歯科保健」	歯科保健に関する最新情報等を常に県民に提
	ホームページ開設	供できる環境をつくるためホームページを開設。
	栃木県歯科疾患実態調査	栃木県の成人の歯科保健の実態を把握するた
		め、歯科疾患実態調査を実施。
平成14年	栃木県8020運動推進協議会	協議会の開催。
	歯周疾患検診推進事業	検診医療機関の歯科医師に対し、国の歯周疾
		患検診マニュアルに添った検診方法の普及や事
		後措置の統一を図るため、研修会を実施
	啓発用リーフレットの作成事業	障害児者編:介護者向けに障害児者用のリーフ
		レットを作成。
		歯周疾患検診編:歯周疾患検診を勧奨するため
		のリーフレットを作成。

平成15年	栃木県8020運動推進協議会	協議会の開催。
	高齢者に対する歯つらつモデル事業	介護保険通所事業(デイサービス事業)を利用
		する高齢者と地域の元気な高齢者(生きがい活
		動通所支援事業実施施設(はつらつセンター)利
		用者)を対象に、口腔検診及び聞き取り調査を
		実施。
	フッ化物応用事業	県民にフッ化物応用に関する正しい知識を普及
		するためのリーフレットの作成・配布。地域での
		フッ化物応用事業を展開する歯科医師に対し、
		知識普及のため研修会を実施。
平成16年	栃木県8020運動推進協議会	協議会の開催。
	歯つらつ実践者応援事業	地域の元気な高齢者を対象に生活状況とその
		状況に応じた口腔実態の把握のため、聞き取り
		調査及び歯科検診・指導を実施した。検診の結
		果、8020・6024達成者には認定証を発行し、
		認定者ポスターを作成。
	歯周疾患予防セルフケア推進事業	歯周疾患の発症・進行予防のため、老健法に基
		づく歯周疾患検診を実施していない10市町村に
		対し、歯周疾患検診や保健指導のモデル事業を
		実施。
	とちぎよい歯つよい歯支援事業	保育・教育施設において積極的なむし歯予防行
		動がとれるよう、むし歯予防マニュアルを作成
		し、モデル事業として、2幼稚園・6保育所・3小
		学校において、フッ化物洗口事業を実施。
平成17年	栃木県8020運動推進協議会	協議会の開催。
	高齢者歯つらつ推進事業	老人福祉施設職員に対し、施設において適切な
		歯科保健行動がとれるように研修を実施。
		地域一般高齢者を対象に口腔機能向上につい
		て健康教育を17市町51会場にて実施。
	とちぎよい歯つよい歯推進事業	集団における効果的なフッ化物応用についての
		ハンドブック作成。フッ化物応用啓発ポスターの
		作成。
		市町村担当、養護教諭、保育士等を対象にハン
		ドブックを用いての研修会実施。
平成18年	栃木県8020運動推進協議会	協議会の開催。
	口腔保健ボランティアリーダー研修	県内の歯科診療所受診者に対し、口腔状況・歯
	事業	科保健の意識等に関するアンケートを実施。
		地域での8020運動推進のため、ボランティア
		団体(食生活改善推進員)を対象に9地区で研
		修会を実施。
	とちぎよい歯つよい歯推進事業	フッ素洗口推進地区検討の参考のため、県内全
		保育所・幼稚園を対象に5歳児のむし歯の状況
		調査を実施。

		フッ素洗口実施を検討している施設等に対して、
		説明会への講師派遣・資料提供・サンプル送付
		等の支援を実施。
	京松老歩ついつ性准恵業	在宅要介護者の口腔状況の改善を図るため、
	高齢者歯つらつ推進事業 	
		介護者(ケアマネジャー・ヘルパー・看護師等)を
		対象に研修会を実施。
平成19年	栃木県8020運動推進協議会	協議会の開催。
	地域で歯つらつ推進事業	歯科保健サービスを受けることが困難な状況
		にある、在宅の高齢者や障害者の口腔衛生の
		向上を図るため、訪問歯科診療の実施が可能
		な歯科医師(歯科医院)の現状を調査し、在
		宅・障害児者歯科診療協力歯科診療所名簿を
		作成•配布。
		高齢者の口腔衛生の向上を図るため、一般高
		齢者・介護従事者向けの口腔ケアに関するリ
		一フレットを作成・配布。
平成20年	栃木県8020運動推進協議会	協議会の開催。
	地域で歯つらつ推進事業	在宅要介護者の全身状態、疾病について及び
		在宅介護の場で知っておくべき知識について、
		歯科医師を対象とした研修会を実施。
		かかりつけ歯科医をもつことを推進するため、
		県民を対象とした公開講座を実施。(県歯科医
		師会創立100周年記念事業)
		県歯科衛生士会による訪問歯科保健指導に
		関する事例の収集及びそれに基づく勉強会を
		実施。
		*「訪問歯科診療・歯科保健指導に関する事
		例集及び事例検討会報告書」作成
		訪問歯科保健指導のための歯科衛生士養成
		研修会を県内3地区で実施。
	とちぎよい歯つよい歯フォロー事業	県内におけるフッ化物洗口事業について、より
		一層の促進と定着化を図ることを目的とし、そ
		の効果を検証するために中学校での調査を実
		施。
		評価方法及び結果に関する報告書(「栃木県
		内におけるフッ化物洗口事業の評価方法及び
		結果に関する報告書」)を作成。
		栃木県のフッ化物洗口事業実施に関する効果
		検証及びその方法についての学術研修会を実
		施。
		   フッ化物洗ロマニュアルの改定版(「集団にお
		ける効果的なフッ化物応用について」)を作成。
平成21年	栃木県8020運動推進協議会	協議会の開催。
1 100 2 1 7		加加なスペーク(打)住の

地域で歯つらつ推進事業	全身の健康の向上の観点から、在宅高齢者や
	障害者等の要介護者の口腔衛生の向上を図
	ることを目的とし、検討会による介護現場にお
	ける口腔ケア推進のためのマニュアルの作成
	及びそれに基づく歯科衛生士・介護職・看護職
	等を対象とした研修会を開催

### (4) 歯科保健推進協力交付金

(社) 栃木県歯科医師会で実施する歯科保健対策推進事業への支援を実施しました。

### (5) 成人保健研修

地域保健法で明確化された、保健所及び市町の相互の役割が充分に発揮され、関係諸機関との協働のもとに、地域保健活動が更に充実・発展することをねらいとして、地域保健の専門的な知識や技術の向上、政策形成・企画力を養うための研修を開催しました(とちぎ健康福祉協会実施研修)。

#### ア. 研修内容

「市町村における今後の歯科健診のあり方について」

現在の健康増進事業による歯周疾患検診は受診できる年齢が限られており、かつ、受診率が低いことが問題となっている。そこで日本歯科医師会が平成21年7月に作成した「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル」を紹介し、これからの市町村における歯科健診のあり方について検討しました。

○講師 千葉県千葉市 歯科衛生士 高澤 みどり 健康増進課主幹兼衛生福祉大学校歯科技術学部長 青山 旬

#### イ. 参加者

県及び市町等において歯科保健事業に携わる職員 27名

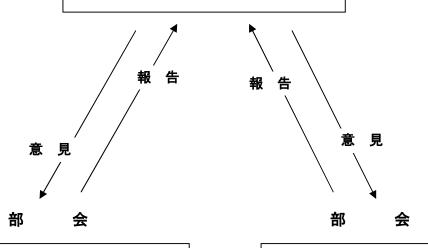
#### (6) 歯科保健対策関連協議会

県では本県における歯科保健対策事業の充実を図るため、3つの協議会を設置しています。

### ア. 各種協議会の関連性

### 栃木県歯科保健推進協議会

栃木県の歯科保健対策推進に関する 総合的な検討を協議



### 栃木県 8020 運動推進協議会

協議内容:8020 運動特別推進事業に係る 事業計画の策定や評価について

### とちぎ歯の健康センター 運営等協議会

協議内容: とちぎ歯の健康センター の運営等について

#### イ. 栃木県歯科保健推進協議会

本県における歯科保健対策を推進するため、様々な分野の専門家を協議会委員に委嘱し、本県の総合的な歯科保健対策事業について協議しています。

#### (ア) 平成22年度栃木県歯科保健推進協議会の結果について

- ・日 時;平成22年12月16日(木)午後2時~午後4時00分
- ·場 所; 県公館 中会議室
- ·出席者; 委員10名、意見聴取者2名
- •議題;
  - 1) 栃木県の歯科保健対策事業について
    - ・平成22年度栃木県の歯科保健対策事業の概要、平成21年度における県及び県内市町での歯科保健事業の実施状況について報告をしました。
  - 2) 8020運動推進事業について
    - ・平成22年度実施事業等について報告をしました。
  - 3) 栃木県歯科保健対策連絡調整会議について

- 4) 栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例について
  - ・条例内容の説明、及び来年度策定予定である歯科保健基本計画に係る構成や策定 手順について説明し、各委員から意見を聴取しました。
- 5) とちぎ健康21プランの評価について
- 6) その他
  - ・栃木県歯科保健推進協議会設置要綱の改正(委員の追加)予定について説明をしました。

### (イ) 栃木県歯科保健推進協議会委員(H22)

No.	氏	名	所属·役職等
1	柴田	勝	栃木県歯科医師会 会長
2	中津	道昭	栃木県歯科医師会 副会長(学校保健担当)
3	瓦井	昭二	栃木県歯科医師会 常務理事(地域保健担当)
4	尾形	直三郎	栃木県医師会 常任理事
5	船山	由利子	栃木県歯科衛生士会長
6	藤栄	与四郎	栃木県歯科技工士会 相談役
7	甲斐	典子	栃木県老人福祉施設協議会 理事 (特養うづま荘施設長)
8	岸本	園子	栃木県保育協議会 理事 (宇都宮市立泉が丘保育園長)
9	星	光徳	市町村代表 (茂木町保健福祉課長)
10	櫻井	恭子	栃木県市町村保健師業務研究会副会長 (益子町保健センター)
11	三好	俊也	中核市(宇都宮市健康増進課長)
12	武藤	孝司	栃木産業保健推進センター所長
13	青山	旬	栃木県立衛生福祉大学校歯科技術学部長
14	大類	美知子	栃木県教育委員会事務局健康福利課長

### ウ. 8020運動推進協議会

国の歯科保健医療対策事業である「8020運動推進特別事業」を活用し、本県の歯科保健対策を推進するための事業について協議しています。

### (ア) 平成22年度の8020運動推進協議会の開催について

平成22年度は東日本大震災の影響により、紙面による協議を実施しました。

### (イ) 8020運動推進協議会委員(H22)

No.	氏 名	所 属				
1	柴田 勝	栃木県歯科医師会会長				
2	田村 一夫	ッ 専務理事				
3	瓦井 昭二	" 常務理事				
4	船山 由利子	栃木県歯科衛生士会会長				
5	鈴木 美恵子	栃木県食生活改善推進団体連絡協議会副会長				
6	大類 美知子	栃木県教育委員会事務局健康福利課長				
7	青山 旬	栃木県保健福祉部健康増進課主幹				

#### エ. とちぎ歯の健康センター運営等協議会

とちぎ歯の健康センターを拠点とした障害者歯科診療、巡回診療、歯科保健に関する相談・指導及び普及啓発等に関する事業の実施内容の充実について協議しています。

### (ア) 平成22年度のとちぎ歯の健康センター運営等協議会の開催について

平成22年度は東日本大震災の影響により、紙面による協議を実施しました。

#### (イ)とちぎ歯の健康センター運営等協議会委員(H22)

No.	氏名	所属				
1	柴田 勝	栃木県歯科医師会会長				
2	田村 一夫	栃木県歯科医師会専務理事				
3	入野 光一	栃木県歯科医師会常務理事				
4	船山 由利子	栃木県歯科衛生士会会長				

### (7) 歯科保健対策連絡調整会議

県からの情報提供及び各市町の歯科保健対策の実施状況について情報交換をし、地域における歯科 保健対策の推進や連携体制の構築を図ることを目的とし、平成21年度から開催しています。

#### 平成22年度栃木県歯科保健対策連絡調整会議の結果について

- ·日 時;平成22年10月13日(水)午前9時30分~午前11時50分
- ・場 所;とちぎ健康の森 大会議室
- ・出席者;県及び市町等において歯科保健事業に携わる職員 38名
- •議題;
  - 1) 栃木県の歯科保健対策事業について
  - 2) 8020運動推進事業について
  - 3) フッ化物洗口事業について
  - 4) 栃木県歯科衛生士会の活動状況について
  - 5)「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」について
- 6) 各市町の事業実施に関する情報交換 (グループワーク)

# Ⅴ 平成23年度に講じようとする施策について

事業名 予算額 (千円)	事業説明	事業内容等	普及啓発	予防・検診	障害児者等	人材育成·
歯の健康 センター事業 (36,980)	とちぎ歯の健 康センターを拠 点とした障害者 歯科診療、巡回診 療、歯科保健に関 する相談・指導及	<ul><li>・普及啓発</li><li>・相談事業(電話相談等)</li><li>・永久歯対策事業</li><li>・歯科保健従事者研修会</li><li>・心身障害児者歯科診療</li><li>・福祉施設巡回歯科健診・相談</li></ul>	0 0		0 0	0
	び普及啓発等に要する経費	・歯の衛生週間事業・フッ素洗口事業	0	0		
8020運動 推進事業 (5,663)	80歳になって も自分の歯を2 0本以上保つこ とを目標とした 各種事業の展開	<ul><li>・協議会の開催</li><li>・歯科保健からの食育推進の検討、試行</li><li>・地域での歯科連携の検討、試行</li><li>・障害児者の歯科健診、医療需要</li></ul>	0		0	0
歯科保健普及 啓発事業 (2,918)	歯科保健事業の 充実及びその連 絡調整事務等に 要する経費	調査 ・非常勤嘱託員人件費等 ・よい歯のコンクール ・地域における歯科保健対策の 推進	0			0
歯及び口腔の 健康づくり推 進事業費 (4,269)	県民の歯及び口         腔の健康づくり         を推進するため         に要する経費	・基本計画策定に係る協議会開催費用 ・条例普及のための講演会の開催 ・歯科保健に関する実態調査 (対象;一般及び要介護高齢者・障害 児者)	0		0	0
障害者歯科医療システム推 進事業 (6,750)	障害の状態と歯 科疾患の程度に 応じ、必要な治療 を受けやすくす ることを目的と するシステムの より円滑な運営 のために要する 経費	・障害者歯科医療システム2次・3次 診療機関への運営経費に対しての補 助			0	
歯科保健推進 協力交付金 (7,200)	栃木県歯科医師 会が実施する歯 科保健対策事業 に対する交付金	・栃木県歯科医師会に対しての交付金				0
(63,780)						

## Ⅵ 資料:県内市町におけるライフステージごとの取組(平成 22 年度)

ライフステージごとの事業実施一覧

市町名	事美	Ĭ K	妊産婦	乳児	1歳6か月児	2 歳 児	3歳児	幼児	フッ化物応用	学 童生 徒	成人	歯周疾患検診	高齢者	全ライフ ステージ*
宇	都 宮	市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿	沼	市	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
西	方	町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
日	光	市			0	0	0	0	0			0	0	0
真	岡	市			0	0	0	0	0		0	0	0	
益	子	町	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
茂	木	町	0	0	0	0	0	0	0		0	0		
市	貝	町		0	0	0	0	0			0	0	0	
芳	賀	町			0	0	0	0	0	0		0	0	
小	山	市			0		0	0	0	0	0	0	0	0
下	野	市			0		0	0	0	0		0	0	
上 3	<b>=</b> JII	町			0	0	0	0	0			0	0	
野	木	町	0		0	0	0	0	0		0		0	0
栃	木	市	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
£	生	町			0	0	0	0	0	0		0	0	0
岩	舟	町		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
大日	田原	市		0	0	0	0	0	0	0	0		0	
那 須	塩』	原 市			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
那	須	町			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
矢	板	市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塩	谷	町		0	0	0	0	0			0			
さ 〈	( b	市			0	0	0	0	0		0		0	0
高村	艮 沢	町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
那 須	烏L	山市		0	0	0	0	0	0	0		0	0	
那五	可川	町		0	0	0	0	0	0	0		0	0	
足	利	市			0		0	0	0		0	0	0	
佐	野	市	0	0	0		0	0		0	0		0	0
	合計		9	14	27	22	27	27	24	17	19	23	24	11

<sup>\*</sup>全ライフステージ…全住民を対象としたイベント事業の実施